

先輩からのメッセージ

電子機械科3年 浅木 大輔 (千葉市立高浜中学校)

進路先：千葉工業大学工学部先端材料工学科

○千葉工業高校の魅力

千葉工業高校は生徒の内定率がとても高く、1人に対して複数社から求人票が来ており、自身の望む進路に進みやすいです。また、就職のための履歴書作成や、入社試験の対策なども先生のサポートを得られるので、安心して進路活動をすることができます。進学についても、評定次第では「千葉工業大学」や「日本大学生産工学部」の指定校推薦による入試を受けることができます。

○高校生活で力を入れてきたこと

私が高校生活で力を入れてきたことは部活動です。私は「機械発明創作部・旋盤作業部門」に所属しており、旋盤と呼ばれる工作機械を用いた加工の技術を競う「高校生ものづくりコンテスト・旋盤作業部門」という大会に出場しました。県大会では2位、関東大会では1位、全国大会では8位を取ることができました。このような経験によって、自身の技術力を大幅に向上させることが出来ました。また、目の前の課題に対して、問題が起きている原因を見極めて論理的に解決する力を身につけることが出来ました。



○中学生へのアドバイス

大切なのは「どの高校に合格したか」ではなく、「入学後にどのように生活していくか」です。偏差値の高い高校に合格しても、入学後になんとか毎日を過ごすだけだと、とても勿体無いです。そのため、高校生になったら（もしくは社会人になったら）どんなことをしたいかを、今のうちに考えておくの良いです。進学後の目標が定まっていれば勉強のモチベーションを保ちやすくなり、自分に適した高校を選びやすくなります。

○卒業後の進路希望

私は千葉工業大学先端材料工学科に合格しました。普段の授業や部活動を通して金属材料に興味を持ち、設計をするのにも加工をするのにも材料の知識が必要だと気づきました。入学後、材料工学を中心にものづくりについてより深く学び、日本をものづくりによって支えていく技術者になりたいと考えています。

令和5年度 工業化学科卒業 佐藤 優花 (千葉市立生浜中学校)

植草学園大学発達教育学部発達支援教育学科

○千葉工業高校の魅力

千葉工業高校の魅力は、就職率や内定率が非常に高い点にあります。多くの企業から求人票が寄せられ、先生方は生徒一人ひとりに対して面接や礼儀作法の指導など、手厚いサポートを提供して下さいます。また、進学を希望する生徒に対しても心強い先生方がいらっしゃるため、安心して学ぶことができます。

○高校生活で力を入れてきたこと

私が高校生活で特に力を入れてきたことは、勉強です。クラスの仲間と共に切磋琢磨しながら学ぶことが非常に楽しかったです。また、人前に立つことが苦手だったため、生徒会活動を通じてその苦手を克服することにも力を入れました。

○中学生へのアドバイス

自分がどのようなことをしたいのかを考えることは非常に重要です。私自身、具体的な進路を決めたのは高校2年生の時でしたので、焦らずにじっくりと探すことも一つの選択肢だと思います。また、普通高校では経験できないことができるため、その点でも魅力を感じています。

○大学生活について

高校生活では、期限よりも早く課題を提出することを心掛けていました。その結果、大学に進学してからも、課題を早めに提出する習慣が身についているおかげで、効率的に学業に取り組むことができています。

令和5年度 電子機械科卒業 熱海 大和 (千葉市立大宮中学校)

デンカ株式会社 千葉工場

○千葉工業高校の魅力

千葉工業高校の魅力は高い就職率です。千葉工業高校は求人数が多く、自分に合った求人を見つけることができます。また先生方が生徒に寄り添い進路活動を丁寧にサポートして下さることも魅力です。

○高校生活で力を入れてきたこと

私が高校生活で力を入れたことは部活動でサッカー部に所属していました。サッカー部には様々な科の生徒が参加しており、たくさんの友達を作ることが出来ました。部の厳しい練習で忍耐力が身につくとともに、挨拶や礼儀など大切なことも学ぶことが出来ました。

○中学生へのアドバイス

たくさんの学校説明会などに参加することをお勧めします。偏差値だけで決めるのではなく、自分の将来について考え、学校選択をするようにしましょう。また、高校は1年生の評定が大切になるので、勉強も1年生のうちから手を動かさずに取り組むようにしましょう。

○現在の仕事について

私は化学工場でプラントオペレーターとして三交代勤務をしています。その中で工業高校で学んだ化学知識が職場で活きています。部活で学んだ挨拶や礼儀のおかげで職場でもよい関係を築けています。この仕事に就けて、とてもやりがいを感じています。

